

登録コード	SSF11500	開講年度	2026				
授業題目	集水域システム論					担当教員	榊原 厚一 他
英文授業名	Watershed Ecosystem Ecology					副担当	國頭 恭
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限・不定期			
講義室					備考	春休み中に実施の可能性があるためM1での履修が望ましい	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学						
	【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				山岳を含む水循環システムを理解し，水に関わる研究・実務において適切な意思決定ができるようになる．		
	2 6 SSカリ・理学， 2 5 SSカリ・理学						
	【DP1】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				山岳を含む水循環システムを理解し，水に関わる研究・実務において適切な意思決定ができるようになる．		
(2)授業の概要	陸域における水循環と水循環に伴う物質循環は，行政区画単位ではなく，流域を最小単位とする連続的なものである．すなわち，「水」や「環境」に関する諸問題は行政区画を超えた流域単位での対策・解決が求められる．本授業では「流域水循環」と「流域物質循環」をキーワードに流域のもつ機能についての解説を行う．さらに，実際にフィールドへ出ることにより，流域という概念を理解し，議論する．						
(3)授業のキーワード	流域（集水域），水循環，物質循環，環境問題						
(4)授業計画	1：オリエンテーション 2：流域の基本構造 3：流域の水循環 4：流域の物質循環 5：流域における諸問題 6：行政の抱える流域に関する課題 7：流域単位の持続的環境の構築 8：流域における科学と行政の役割 9：フィールドワーク1 10：フィールドワーク2 11：フィールドワーク3 12：フィールドワーク4 13：フィールドワーク5 14：発表・ディスカッション 15：発表・ディスカッション *授業内容が，厳冬期の上高地巡検（集中）となる場合があります．						
(5)成績評価の方法	出席(50%)，期末レポート(50%)で判断する．						
(6)成績評価の基準	評価基準は，90点以上はS，80点以上はA，70点以上はB，60点以上はCとする．						
(7)事前事後学習の内容	各回について，予習・復習をすること．						
(8)履修上の注意	履修登録者に対して，夏期休業の前後にメールにて連絡します． R6年度は，事前学習・打合せ・厳冬期の上高地巡検を実施予定です．詳細は，担当教員（榊原）まで問い合わせてください．						
(9)質問,相談への対応	メールアドレス「k_sakaki@shinshu-u.ac.jp」へお願いします． 担当：榊原						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						